



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月3日

上場会社名 田辺三菱製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4508 URL http://www.mt-pharma.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津家 正之  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 御船 祥史 TEL 06-6205-5211  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	340,925	6.6	91,904	44.5	91,988	43.5	60,089	24.4
27年3月期第3四半期	319,777	△1.1	63,588	14.5	64,088	10.9	48,294	10.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 56,773百万円 (8.6%) 27年3月期第3四半期 52,298百万円 (9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	107.11	—
27年3月期第3四半期	86.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	979,901	834,420	84.0
27年3月期	929,301	800,434	84.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 823,555百万円 27年3月期 788,979百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
28年3月期	—	22.00	—		
28年3月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	429,000	3.3	92,000	37.0	91,000	34.5	53,000	34.2	94.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	561,417,916株	27年3月期	561,417,916株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	428,812株	27年3月期	428,340株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	560,989,314株	27年3月期3Q	560,990,643株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページをご参照ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法について)

- ・決算補足説明資料は本資料の12ページ以降に「4. 補足資料」として掲載しています。
  - ・当社は、平成28年2月3日（水）に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会（電話会議）を開催する予定です。
- 説明内容については、プレゼンテーション資料を本資料発表と同時に、また音声配信を説明会終了後速やかに、当社ホームページに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11
4. 補足資料	12
(1) 2015年度第3四半期(2015年4月～12月)連結決算について	12
(2) 新製品開発状況について	17

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)の連結業績は、以下のとおりとなりました。

(単位:百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	319,777	340,925	+21,148	+6.6%
売上原価	128,025	120,844	△7,181	△5.6%
売上原価率	40.0%	35.4%		
売上総利益	191,752	220,081	+28,329	+14.8%
販売費及び 一般管理費	128,164	128,177	+13	+0.0%
営業利益	63,588	91,904	+28,316	+44.5%
営業外損益	500	84	△416	
経常利益	64,088	91,988	+27,900	+43.5%
特別損益	5,788	△3,254	△9,042	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	48,294	60,089	+11,795	+24.4%

## 【売上高】

売上高は、前年同期比+6.6%、211億円増収の3,409億円となりました。

(単位:百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
医薬品事業	319,443	340,640	+21,197	+6.6%
国内医療用医薬品	252,003	240,653	△11,350	△4.5%
海外医療用医薬品	16,793	19,792	+2,999	+17.9%
一般用医薬品	3,180	3,053	△127	△4.0%
医薬品その他	47,467	77,142	+29,675	+62.5%
その他	334	285	△49	△14.7%

医薬品事業は、前年同期比+6.6%、211億円増収の3,406億円となりました。

- 国内医療用医薬品は、血漿分画製剤の販売提携が2015年3月末をもって終了した影響などにより、前年同期比4.5%減収の2,406億円となりました。
- 医薬品その他は、ノバルティス社に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」、ヤンセンファーマシューティカルズ社に導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメトホルミンの合剤(即放性製剤)に係るロイヤリティ収入等の増加や、バイオジェン社との自己免疫疾患治療剤「MT-1303」に関するライセンス契約、アムジェン社およびデジマ社との脂質異常症治療剤(CETP阻害剤)「TA-8995」に関する特許・ノウハウの譲渡契約による契約一時金の受け取りなどにより、前年同期比62.5%増収の771億円となりました。

## 【営業利益】

営業利益は、前年同期比+44.5%、283億円増益の919億円となりました。

- ・売上原価率は、血漿分画製剤の販売提携終了、ロイヤリティ収入の伸長、契約一時金の受け取りなどにより、前年同期比4.6ポイント低下し、35.4%となりました。これに伴い、売上総利益は、前年同期比283億円増益の2,200億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、研究開発費が増加したものの、販売促進費が減少したことなどにより、前年同期比で横ばいの1,281億円となりました。なお、研究開発費は502億円、売上高に対する割合は14.7%となりました。

## 【経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益】

経常利益は、前年同期比+43.5%、279億円増益の919億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比+24.4%、117億円増益の600億円となりました。

- ・営業外損益は、為替差損が4億円発生したことなどにより、前年同期比4億円悪化しました。
- ・特別利益は、投資有価証券売却益、固定資産売却益により129億円となりました。なお、前年同期は135億円です。主に固定資産売却益、投資有価証券売却益によるものです。
- ・特別損失は、構造改革費用、減損損失により161億円となりました。なお、前年同期は77億円です。主に構造改革費用、減損損失によるものです。

## 【四半期包括利益】

四半期純利益が585億円、その他の包括利益では、その他有価証券評価差額金などが増加したものの、為替換算調整勘定などが減少したため、四半期包括利益は567億円となりました。なお、親会社株主に係る四半期包括利益は592億円であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## 【貸借対照表】

(単位：百万円)

	前期末 2015年3月末	当第3四半期末 2015年12月末	増減
流動資産	603,649	681,255	+77,606
固定資産	325,652	298,646	△27,006
資産合計	929,301	979,901	+50,600
負債	128,867	145,481	+16,614
純資産	800,434	834,420	+33,986
負債純資産合計	929,301	979,901	+50,600

当第3四半期末における総資産は9,799億円となり、前期末比506億円増加しました。前期末と比較した貸借対照表上の主な変動要因は以下のとおりです。

- ・流動資産は、主に現金及び預金の増加により、前期末比776億円増加の6,812億円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券、無形固定資産などの減少により、前期末比270億円減少の2,986億円となりました。
- ・負債は、未払金、支払手形及び買掛金などの増加により、前期末比166億円増加の1,454億円となりました。
- ・純資産は、利益剰余金などの増加により前期末比339億円増加の8,344億円となりました。なお、自己資本比率は84.0%（前期末84.9%）となりました。

## 【キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減
営業キャッシュ・フロー	30,907	59,372	+28,465
投資キャッシュ・フロー	△15,348	47,511	+62,859
財務キャッシュ・フロー	△22,383	△22,967	△584
現金・現金同等物増減額	△4,568	83,270	+87,838
現金・現金同等物期首残高	84,957	73,337	△11,620
現金・現金同等物期末残高	80,389	156,607	+76,218

当第3四半期におけるキャッシュ・フローは832億円の収入となり、当第3四半期末の現金及び現金同等物は1,566億円となりました。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益などによる収入が法人税等の支払額などによる支出を上回り、593億円の収入となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却、有価証券の償還、定期預金の払戻などによる収入が、有形固定資産や有価証券の取得、定期預金の預入などによる支出を上回り、475億円の収入となりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払いなどにより229億円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績、および足下の販売状況などを踏まえ、2015年9月30日に公表しました2016年3月期通期(自2015年4月1日至2016年3月31日)の連結業績予想を下記の通り修正しました。

売上高につきましては、国内医療用医薬品において、ワクチンなどが好調であること、またロイヤリティ収入が順調に推移しており増収が見込まれることから、前回発表予想から上方修正しました。

利益面につきましては、売上高の増収に加え、開発経費などの研究開発費を中心に、販売費及び一般管理費が想定を下回って推移しており、営業利益、経常利益ともに、前回発表予想を上回る見通しであります。親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、現在進めている構造改革の加速に伴い、第3四半期に発生した早期退職に伴う割増退職金に加え、第4四半期においても特別損失の追加発生を見込んでいるものの、特別利益として投資有価証券売却益を計上したこと等により、前回発表予想を上回る見通しであることから各段階利益ともに上方修正しました。

## 2016年3月期通期の連結業績予想の修正

(自2015年4月1日至2016年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	418,000	82,000	81,000	46,000	82円00銭
今回修正予想(B)	429,000	92,000	91,000	53,000	94円48銭
増減額(B-A)	11,000	10,000	10,000	7,000	—
増減率(%)	2.6	12.2	12.3	15.2	—
(ご参考)前期実績 (2015年3月期)	415,124	67,133	67,654	39,502	70円41銭

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	50,203	156,177
受取手形及び売掛金	130,331	155,735
有価証券	118,805	73,502
商品及び製品	63,566	49,071
仕掛品	582	400
原材料及び貯蔵品	20,943	21,320
預け金	192,758	193,062
繰延税金資産	8,319	12,260
その他	18,186	19,770
貸倒引当金	△44	△42
流動資産合計	603,649	681,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,480	33,827
機械装置及び運搬具(純額)	11,904	12,062
工具、器具及び備品(純額)	6,045	5,874
土地	34,689	33,896
リース資産(純額)	782	889
建設仮勘定	4,597	5,655
有形固定資産合計	92,497	92,203
無形固定資産		
のれん	81,517	73,160
その他	35,402	32,375
無形固定資産合計	116,919	105,535
投資その他の資産		
投資有価証券	76,328	59,512
繰延税金資産	763	436
退職給付に係る資産	15,730	19,307
その他	23,417	21,654
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	116,236	100,908
固定資産合計	325,652	298,646
資産合計	929,301	979,901



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,620	42,965
1年内返済予定の長期借入金	132	127
未払金	25,386	37,615
未払法人税等	19,758	20,252
賞与引当金	9,957	5,484
その他の引当金	138	1,847
その他	15,408	14,470
流動負債合計	105,399	122,760
固定負債		
長期借入金	894	760
繰延税金負債	9,776	9,982
HIV訴訟健康管理手当等引当金	1,700	1,700
スモン訴訟健康管理手当等引当金	2,731	2,408
HCV訴訟損失引当金	2,036	1,668
退職給付に係る負債	2,456	2,441
その他	3,875	3,762
固定負債合計	23,468	22,721
負債合計	128,867	145,481
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	451,186	451,186
利益剰余金	275,325	310,729
自己株式	△493	△494
株主資本合計	776,018	811,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,929	15,976
繰延ヘッジ損益	105	0
為替換算調整勘定	105	△2,083
退職給付に係る調整累計額	△2,178	△1,759
その他の包括利益累計額合計	12,961	12,134
非支配株主持分	11,455	10,865
純資産合計	800,434	834,420
負債純資産合計	929,301	979,901

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
売上高	319,777	340,925
売上原価	128,025	120,844
売上総利益	191,752	220,081
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,551	2,580
販売促進費	7,138	5,901
給料及び手当	24,830	25,063
賞与引当金繰入額	2,966	3,114
退職給付費用	979	346
減価償却費	1,251	1,386
研究開発費	48,085	50,260
のれん償却額	8,095	7,881
その他	32,269	31,646
販売費及び一般管理費合計	128,164	128,177
営業利益	63,588	91,904
営業外収益		
受取利息	1,187	1,178
受取配当金	771	1,156
その他	815	637
営業外収益合計	2,773	2,971
営業外費用		
支払利息	142	152
寄付金	846	939
為替差損	—	478
その他	1,285	1,318
営業外費用合計	2,273	2,887
経常利益	64,088	91,988

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	11,924	707
投資有価証券売却益	1,069	12,238
関係会社株式売却益	560	—
特別利益合計	13,553	12,945
特別損失		
減損損失	965	694
構造改革費用	6,562	15,505
投資有価証券評価損	130	—
その他	108	—
特別損失合計	7,765	16,199
税金等調整前四半期純利益	69,876	88,734
法人税、住民税及び事業税	22,101	33,622
法人税等調整額	646	△3,444
法人税等合計	22,747	30,178
四半期純利益	47,129	58,556
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,165	△1,533
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,294	60,089

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
四半期純利益	47,129	58,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	788	1,047
繰延ヘッジ損益	△394	△105
為替換算調整勘定	3,960	△3,121
退職給付に係る調整額	791	419
持分法適用会社に対する持分相当額	24	△23
その他の包括利益合計	5,169	△1,783
四半期包括利益	52,298	56,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,205	59,262
非支配株主に係る四半期包括利益	△907	△2,489

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	69,876	88,734
減価償却費	6,656	6,636
減損損失	965	694
のれん償却額	8,095	7,881
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2,984	△3,577
HCV訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	△410	△368
スモン訴訟健康管理手当等引当金の増減額 (△は減少)	△316	△323
受取利息及び受取配当金	△1,958	△2,334
関係会社株式売却損益 (△は益)	△560	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△11,786	△581
構造改革費用	6,562	15,505
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,069	△12,238
売上債権の増減額 (△は増加)	△29,621	△25,561
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,286	11,359
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,839	8,437
未払金の増減額 (△は減少)	1,116	△1,636
その他	1,003	△1,910
小計	49,016	90,718
利息及び配当金の受取額	1,908	2,319
利息の支払額	△163	△152
法人税等の支払額	△19,854	△33,513
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,907	59,372
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△75,300	△89,500
有価証券の売却及び償還による収入	53,011	122,800
定期預金の預入による支出	△1,054	△32,555
定期預金の払戻による収入	4,753	24,892
預け金の預入による支出	△10,471	△304
有形固定資産の取得による支出	△6,468	△9,295
有形固定資産の売却による収入	11,070	2,757
無形固定資産の取得による支出	△1,096	△944
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,297	26,537
関係会社株式の売却による収入	7,600	—
会社分割による収入	—	3,323
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,467	—
その他	△157	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,348	47,511
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△973	—
配当金の支払額	△22,439	△24,684
非支配株主への配当金の支払額	△570	△75
非支配株主からの払込みによる収入	1,698	1,973
その他	△99	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,383	△22,967
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,256	△646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,568	83,270
現金及び現金同等物の期首残高	84,957	73,337
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,389	156,607

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足資料

## (1) 2015年度 第3四半期連結決算について

## ① 損益状況(第3四半期累計期間)

(単位:億円)

	当3Q累計期間		前3Q累計期間		前年同期比較		通期予想比較			主なポイント (前年同期比較)
	実績	対売上比率	実績	対売上比率	増減額	増減率	前回公表(注1)	見直し後(注2)	進捗率 (注2)	
売上高	3,409	100.0	3,198	100.0	211	6.6	4,180	4,290	79.5	
国内	2,459	72.1	2,636	82.4	△ 177	△ 6.7	3,034	-	81.1	
海外	950	27.9	562	17.6	388	69.1	1,146	-	82.9	平均為替レート 当第3四半期:1US\$=121.63円 前第3四半期:1US\$=107.75円
売上原価	1,208	35.4	1,280	40.0	△ 72	△ 5.6	1,500	1,550	78.0	血漿分画製剤の販売提携終了、ロイヤリティ収入等の増収などにより 売上原価率が改善
売上総利益	2,201	64.6	1,918	60.0	283	14.8	2,680	2,740	80.3	
販管費	1,282	37.6	1,282	40.1	0	0.0	1,860	1,820	70.4	
研究開発費	503	14.7	481	15.0	22	4.5	760	740	67.9	
研究開発費以外	779	22.9	801	25.0	△ 22	△ 2.7	1,100	1,080	72.1	
人件費	348	10.2	348	10.9	0	△ 0.1	470	470	74.0	
のれん償却額	79	2.3	81	2.5	△ 2	△ 2.6	105	105	75.1	
その他	353	10.3	372	11.6	△ 19	△ 5.1	525	505	69.9	
営業利益	919	27.0	636	19.9	283	44.5	820	920	99.9	
営業外収益	30		28		2					
受取利息	12		12		0					
受取配当金	12		8		4					
その他	6		8		△ 2					
営業外費用	29		23		6					
支払利息	2		1		0					
寄付金	9		8		1					
為替差損	5		-		5					
その他	13		13		0					
経常利益	920	27.0	641	20.0	279	43.5	810	910	101.1	
特別利益	129		136		△ 6		-	-	-	
固定資産売却益	7		119		△ 112					当期)戸田寮、平野町1号ビルほか 前期)旧日本橋ビル跡地ほか
投資有価証券売却益	122		11		112					
関係会社株式売却益	-		6		△ 6					前期)エービーアイコーポレーショ ン、シミックCMO足利の株式売却益
特別損失	162		78		84		-	-	-	
構造改革費用	155		66		89					早期退職に伴う割増退職金および 再就職支援費用 153億円ほか
減損損失	7		10		△ 3					当期)加島事業所研究2号館 前期)戸田寮ほか
投資有価証券評価損	-		1		△ 1					
その他	-		1		△ 1					
親会社株主に帰属する 四半期純利益	601	17.6	483	15.1	118	24.4	460	530	113.4	
総人件費	583	17.1	599	18.7	△ 16	△ 2.6	785	785	74.3	

(注1) 2015年10月30日 2015年度第2四半期決算発表時に公表した2015年度通期業績予想

(注2) 当社は本日付で2015年度業績予想を修正いたしました。国内・海外等、売上高の内訳については見直しを行わず、前回公表した予想数値を据え置いております。進捗率については、国内および海外売上高は前回公表の予想数値を基に、それ以外の項目については見直し後の数値を基に算出しております。

## ② 主要製品売上高(第3四半期累計期間)

(単位:億円)

	当第3四半期 累計期間	前年同期比較			通期予想との比較		
		前第3四半期 累計期間	増減額	増減率%	前回公表(注1)	見直し後(注2)	進捗率% (注2)
医療用医薬品	3,376	3,163	213	6.7	4,135	-	81.6
国内医療用医薬品	2,407	2,520	△ 114	△ 4.5	2,966	-	81.1
レミケード	540	545	△ 5	△ 0.9	677	-	79.8
セレジスト	114	123	△ 8	△ 6.7	137	-	83.7
タリオン	112	103	9	8.3	169	-	66.3
テネリア(旧スキーム)(注3)	37	46	△ 9	△ 19.9	37	-	99.7
テネリア(新スキーム)(注3)	73	非開示	-	-	99	-	73.5
メインテート	107	109	△ 3	△ 2.3	132	-	80.8
シンポニー	98	80	18	23.0	126	-	77.8
レクサプロ	74	61	13	20.8	104	-	71.1
クレメジン	74	82	△ 9	△ 10.3	91	-	81.6
ウルソ	66	78	△ 12	△ 15.0	84	-	78.9
デパス	57	63	△ 5	△ 8.6	70	-	82.1
ラジカット	56	59	△ 3	△ 4.5	62	-	90.4
アンブラーグ	52	66	△ 13	△ 20.4	64	-	82.6
ワクチン	315	259	57	21.8	326	-	96.5
インフルエンザ	121	82	38	46.8	112	-	107.6
テトラビック	72	57	16	27.4	74	-	97.9
田辺製薬販売取扱品(注4)	106	103	2	2.3	140	-	75.5
海外医療用医薬品	198	168	30	17.9	252	-	78.4
ヘルベッサー	47	49	△ 2	△ 4.4	68	-	69.1
アルガトロバン(ノバスタン)	22	17	4	24.4	28	-	77.6
タナトリル	12	14	△ 2	△ 12.8	17	-	72.7
製造受託品(注5)	15	26	△ 11	△ 42.4	21	-	72.5
ロイヤリティ収入等	757	449	308	68.6	896	-	84.4
ジレニア ロイヤリティ	399	325	74	22.7	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	167	61	106	172.5	非開示	-	-
一般用医薬品	31	32	△ 1	△ 4.0	41	-	74.3
売上高合計	3,409	3,198	211	6.6	4,180	4,290	79.5

(注1) 2015年10月30日 2015年度第2四半期決算発表時に公表した2015年度通期業績予想

(注2) 当社は本日付で2015年度業績予想を修正いたしました。個別製品の売上予想等、売上高の内訳については見直しを行わず、前回公表した予想数値を据え置いております。進捗率については、売上高合計のみ見直し後の数値を基に算出しております。

(注3) テネリアについては、2015年10月1日より、当社と第一三共による共同販売から第一三共による単独販売へと販売スキームが変更となりました。両社による共同プロモーションは継続しております。スキーム変更に伴い、当第3四半期より第一三共への販売額と同社から受け取るプロモーションフィーを合算し、当社のテネリア(新スキーム)売上高として開示しております。

(注4) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注5) 他社製品の製造受託品等



## ③ 主要製品売上高(第3四半期会計期間)

(単位:億円)

	当第3四半期 2015年10月~12月	前年同期比較			下期予想との比較		
		前第3四半期 2014年10月~12月	増減額	増減率%	前回公表(注1)	見直し後(注2)	進捗率% (注2)
医療用医薬品	1,381	1,198	184	15.3	2,141	-	64.5
国内医療用医薬品	933	968	△ 35	△ 3.6	1,492	-	62.5
レミケード	195	193	2	1.2	332	-	58.8
セレジスト	41	44	△ 3	△ 6.8	63	-	64.6
タリオン	48	43	5	11.8	104	-	45.6
テネリア(新スキーム)(注3)	43	非開示	-	-	70	-	62.3
メインテート	38	38	0	△ 0.9	63	-	59.7
シンポニー	36	29	7	23.9	64	-	56.5
レクサプロ	30	27	3	11.1	61	-	50.1
クレメジン	26	28	△ 2	△ 8.8	42	-	60.6
ウルソ	22	27	△ 5	△ 17.9	40	-	55.6
デバス	20	22	△ 2	△ 7.5	33	-	61.8
ラジカット	22	21	1	4.8	28	-	78.7
アンブラーグ	18	22	△ 5	△ 20.3	29	-	61.6
ワクチン	170	148	23	15.2	181	-	93.8
インフルエンザ	93	73	20	26.7	84	-	110.1
テトラビック	36	21	15	69.2	38	-	95.8
田辺製薬販売取扱品(注4)	40	39	1	1.9	74	-	53.6
海外医療用医薬品	55	55	1	1.4	110	-	50.4
ヘルベッサー	16	14	1	9.9	37	-	43.1
アルガトロバン(ノバスタン)	6	5	1	22.2	12	-	48.7
タナトリル	4	4	0	1.8	9	-	46.5
製造受託品(注5)	4	5	△ 1	△ 13.9	10	-	43.7
ロイヤリティ収入等	389	170	218	128.3	529	-	73.5
ジレニア ロイヤリティ	140	137	4	2.6	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	68	非開示	-	-	非開示	-	-
一般用医薬品	10	10	0	△ 4.3	20	-	47.5
売上高合計	1,392	1,209	183	15.1	2,163	2,273	61.2

(注1) 2015年10月30日 2015年度第2四半期決算発表時に公表した2015年度下期業績予想

(注2) 当社は本日付で2015年度業績予想を修正いたしました。個別製品の売上予想等、売上高の内訳については見直しを行わず、前回公表した予想数値を据え置いております。進捗率については、売上高合計のみ見直し後の数値を基に算出しております。

(注3) テネリアについては、2015年度10月1日より、当社と第一三共による共同販売から第一三共による単独販売へと販売スキームが変更となりました。両社による共同プロモーションは継続しております。スキーム変更に伴い、当第3四半期より第一三共への販売額と同社から受け取るプロモーションフィーを合算し、当社のテネリア(新スキーム)売上高として開示しております。

(注4) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注5) 他社製品の製造受託品等

## ④ 四半期業績推移(損益計算書)

(単位:億円)

	2014年度					2015年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	通期予想 (注)
売上高	946 22.8%	1,043 25.1%	1,209 29.1%	953 23.0%	4,151 100.0%	985 23.0%	1,032 24.1%	1,392 32.4%	4,290 100.0%
国内	798 23.7%	853 25.3%	986 29.2%	736 21.8%	3,372 100.0%	763 25.1%	746 24.6%	950 31.3%	3,034 100.0%
海外	148 19.0%	191 24.5%	223 28.7%	217 27.9%	779 100.0%	222 19.4%	286 25.0%	442 38.5%	1,146 100.0%
売上原価	392	390	498	416	1,696	355	376	477	1,550
売上原価率	41.4%	37.4%	41.2%	43.6%	40.9%	36.1%	36.5%	34.2%	36.1%
売上総利益	554 22.6%	653 26.6%	710 28.9%	538 21.9%	2,455 100.0%	630 23.0%	656 23.9%	915 33.4%	2,740 100.0%
販売費及び一般管理費	417 23.4%	441 24.7%	424 23.8%	502 28.2%	1,784 100.0%	402 22.1%	448 24.6%	431 23.7%	1,820 100.0%
研究開発費	163 23.5%	156 22.4%	162 23.2%	215 30.9%	696 100.0%	155 20.9%	178 24.1%	170 23.0%	740 100.0%
研究開発費以外	253 23.3%	285 26.2%	263 24.1%	287 26.4%	1,088 100.0%	248 22.9%	270 25.0%	261 24.2%	1,080 100.0%
人件費	111 23.8%	119 25.5%	118 25.2%	120 25.6%	468 100.0%	112 23.8%	118 25.1%	118 25.0%	470 100.0%
のれん償却額	27 24.7%	27 24.7%	27 24.7%	28 25.8%	109 100.0%	26 25.1%	26 25.0%	26 25.0%	105 100.0%
その他	115 22.6%	139 27.1%	118 23.1%	139 27.2%	511 100.0%	109 21.7%	126 24.9%	118 23.3%	505 100.0%
営業利益	137 20.4%	213 31.7%	286 42.7%	35 5.3%	671 100.0%	227 24.7%	208 22.6%	484 52.6%	920 100.0%
経常利益	146 21.5%	209 30.9%	286 42.3%	36 5.3%	677 100.0%	226 24.9%	207 22.7%	487 53.5%	910 100.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	96 24.3%	229 58.1%	158 39.9%	△ 88 △ 22.3%	395 100.0%	149 28.1%	143 26.9%	309 58.4%	530 100.0%

※ 各項目(売上原価を除く)の下端は進捗率を表示

(注) 当社は本日付で2015年度業績予想を修正いたしました。国内・海外等、売上高の内訳については見直しを行わず、前回公表した予想数値(斜体で表示)を据え置いております。従いまして、通期予想欄の国内および海外売上高については、2015年10月30日 2015年度第2四半期決算発表時に公表した予想数値を、それ以外の項目については今回公表した修正後の予想数値を表示しております。

## ⑤ 四半期業績推移(主要製品売上高)

(単位:億円)

	2014年度					2015年度				
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	通期予想 (注1)	
医療用医薬品	932 22.7%	1,033 25.1%	1,198 29.2%	944 23.0%	4,107 100.0%	972 23.5%	1,022 24.7%	1,381 33.4%	4,135 100.0%	
国内医療用医薬品	775 23.9%	777 24.0%	968 29.9%	719 22.2%	3,239 100.0%	743 25.0%	731 24.6%	933 31.5%	2,966 100.0%	
レミケード	173 24.6%	179 25.3%	193 27.3%	161 22.8%	706 100.0%	169 24.9%	176 26.1%	195 28.8%	677 100.0%	
タリオン	33 20.3%	28 17.7%	43 26.6%	57 35.4%	160 100.0%	36 21.1%	29 17.0%	48 28.2%	169 100.0%	
セレジスト	41 26.4%	38 24.0%	44 27.9%	34 21.7%	157 100.0%	39 28.4%	35 25.5%	41 29.8%	137 100.0%	
メインテート	38 26.7%	34 23.9%	38 26.8%	32 22.6%	141 100.0%	37 27.9%	32 24.5%	38 28.4%	132 100.0%	
シンボニー	25 23.5%	26 24.6%	29 27.9%	25 23.9%	105 100.0%	30 24.0%	32 25.1%	36 28.8%	126 100.0%	
テネリア(旧スキーム)(注2)	11 17.9%	16 24.9%	19 30.6%	17 26.5%	62 100.0%	20 55.4%	17 46.3%	△ 1 △ 2.1%	37 100.0%	
テネリア(新スキーム)(注2)	非開示 -	非開示 -	非開示 -	非開示 -	非開示 -	非開示 -	非開示 -	43 43.8%	99 100.0%	
レクサプロ	17 21.1%	17 21.7%	27 34.3%	18 22.9%	80 100.0%	21 20.5%	22 21.5%	30 29.1%	104 100.0%	
クレメジン	28 26.6%	26 24.9%	28 26.8%	23 21.8%	105 100.0%	25 27.8%	23 25.4%	26 28.4%	91 100.0%	
ウルソ	27 26.7%	24 24.2%	27 27.0%	22 22.1%	100 100.0%	24 28.3%	20 24.2%	22 26.4%	84 100.0%	
デパス	21 25.9%	20 24.9%	22 27.1%	18 22.2%	81 100.0%	19 27.8%	18 25.4%	20 28.9%	70 100.0%	
アンプラーゲ	24 28.7%	20 23.9%	22 27.0%	17 20.5%	83 100.0%	19 30.1%	16 24.4%	18 28.0%	64 100.0%	
ラジカット	20 26.7%	18 24.7%	21 28.3%	15 20.3%	74 100.0%	17 26.7%	18 28.5%	22 35.3%	62 100.0%	
ワクチン	49 16.2%	62 20.4%	148 48.8%	44 14.5%	303 100.0%	63 19.3%	82 25.1%	170 52.1%	326 100.0%	
インフルエンザ	△ 1 △ 0.7%	9 12.7%	73 99.3%	△ 8 △ 11.3%	74 100.0%	0 △ 0.3%	28 25.0%	93 82.9%	112 100.0%	
テトラビック	18 23.6%	18 23.7%	21 28.2%	18 24.4%	75 100.0%	19 26.1%	17 23.3%	36 48.5%	74 100.0%	
水痘ワクチン	6 8.7%	13 18.2%	35 48.8%	17 24.3%	72 100.0%	18 29.2%	15 25.2%	16 26.7%	61 100.0%	
田辺製薬販売 取扱品 (注3)	34 24.8%	31 22.5%	39 28.6%	33 24.0%	136 100.0%	34 24.3%	32 22.8%	40 28.3%	140 100.0%	
海外医療用医薬品	53 23.0%	60 26.3%	55 23.7%	62 27.1%	230 100.0%	62 24.5%	81 32.0%	55 21.9%	252 100.0%	
ヘルベッサ	16 24.4%	19 29.1%	14 22.3%	16 24.2%	65 100.0%	15 22.1%	16 23.6%	16 23.4%	68 100.0%	
アルガトロバン (ノバスタン)	7 32.5%	6 26.5%	5 22.9%	4 18.1%	21 100.0%	5 17.0%	11 39.3%	6 21.3%	28 100.0%	
タナトリル	5 24.7%	6 31.4%	4 21.8%	4 22.1%	18 100.0%	5 26.6%	4 22.4%	4 23.7%	17 100.0%	
製造受託品(注4)	9 27.0%	12 34.6%	5 15.1%	8 23.2%	34 100.0%	6 27.6%	5 23.6%	4 21.3%	21 100.0%	
ロイヤリティ収入等	95 15.7%	184 30.4%	170 28.2%	155 25.7%	604 100.0%	162 18.1%	206 23.0%	389 43.3%	896 100.0%	
ジレニア ロイヤリティ	77 17.6%	111 25.3%	137 31.1%	114 26.0%	439 100.0%	112 -	146 -	140 -	非開示 -	
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示 -	非開示 -	非開示 -	36 37.3%	98 100.0%	46 -	54 -	68 -	非開示 -	
一般用医薬品	12 30.4%	10 24.2%	10 24.9%	8 20.4%	40 100.0%	12 28.4%	9 22.7%	10 23.2%	47 100.0%	
売上高合計	946 22.8%	1,043 25.1%	1,209 29.1%	953 23.0%	4,151 100.0%	985 23.0%	1,032 24.1%	1,392 32.4%	4,290 100.0%	

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 当社は本日付で2015年度業績予想を修正いたしました。個別製品の売上予想等、売上高の内訳については見直しを行わず、前回公表した予想数値(斜体で表示)を据え置いております。従いまして、通期予想欄の売上高合計については、今回公表した修正後の予想数値を、それ以外の項目については2015年10月30日 2015年度第2四半期決算発表時に公表した予想数値を表示しております。

(注2) テネリアについては、2015年10月1日より、当社と第一三共による共同販売から第一三共による単独販売へと販売スキームが変更となりました。両社による共同プロモーションは継続しております。スキーム変更に伴い、当第3四半期より第一三共への販売額と同社から受け取るプロモーションフィーを合算し、当社のテネリア(新スキーム)売上高として開示しております。

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

(2) 新製品開発状況について(2016年2月3日現在)

1. 新規薬剤

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源
TA-7284 (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	台湾	申請中 (2015年3月)	自社
MP-513 (テネリグリプチン臭化水素 酸塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	申請中 (2015年4月)	自社
		欧州	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-2412 (テネリグリプチン臭化水素 酸塩水和物、カナグリフロジ ン水和物)	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤 (2型糖尿病)	日本	フェーズ 3	自社
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本、アジア	フェーズ 2b/3	ハンガリー: ゲデオンリヒター
MT-4666	$\alpha$ 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー型認知症)	日本	フェーズ 2	米:フォーラム ファーマシューティ カルズ
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社
		日本	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社
	(乾癬)	欧州	フェーズ 2	
	(クローン病)	日本、欧州	フェーズ 2	
	(炎症・自己免疫疾患)	日本、欧州、米国	フェーズ 1	
MT-2301	ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン (小児のHib感染の予防)	日本	フェーズ 2	米:ニューロン バイオテック
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ	フェーズ 2	自社
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、カナダ	フェーズ 2	自社
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	フェーズ 1	自社
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	血液および体液用剤	米国	フェーズ 1	自社
MP-124	神経系用剤	米国	フェーズ 1	自社
MP-157	循環器官用剤	欧州	フェーズ 1	自社
MT-0814	眼科用剤	日本	フェーズ 1	自社
MT-8554	神経系用剤 等	欧州	フェーズ 1	自社

## 2. 効能追加

製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤 (乾癬:用法・用量の変更 [増量])	日本	申請中 (2015年7月)	米:ヤンセン・ バイオテック	
	(小児・クローン病)		フェーズ3		
	(小児・潰瘍性大腸炎)		フェーズ3		
トリビック (沈降精製百日せき ジフテリア破傷風混 合ワクチン)	ワクチン・トキソイド混合製剤 (百日せきジフテリア破傷風感染予防; 2期接種)	日本	申請中 (2015年4月)	日:一般財団法人 阪大微生物病研究会	一般財団法人阪大 微生物病研究会と 共同開発
テラビック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎[フェロン併用])	日本	フェーズ3	米:ヴァーテック スファーマシュー ティカルズ	
イムセラ (フィンゴリモド塩酸 塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ3	自社	日本はノバルティス ファーマと共同開発 海外はノバルティス に導出
カナグル (カナグリフロジン水 和物)	SGLT2阻害剤 (糖尿病性腎症)	国際共同治験	フェーズ3	自社	治験依頼者:ヤンセ ンリサーチ アンド デ ベロップメント

## 3. 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先(備考)
TA-7284 (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	米国	申請中 (2015年11月)	米:ヤンセンファーマシューティカルズ
	(糖尿病性腎症)	国際共同治験	フェーズ 3	
	(1型糖尿病)	米国、カナダ	フェーズ 2	
	(肥満・フェンテルミンとの併用)	米国	フェーズ 2	
FTY720 (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	スイス:ノバルティス (日本は、当社とノバルティスファーマの共同開発)
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 3	日:協和発酵キリン
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日:千寿製薬
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	韓:サマファーマ
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用* (うつ病)	欧州	フェーズ 2	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ	フェーズ 2	米:メルク
sTU-199 (テナトプラゾール)	消化器官用剤	欧州	フェーズ 1	仏:ネグマ(シデム)

\*選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/ $\alpha$ 1Aと $\alpha$ 1Bアドレナリン受容体の調節

## 4. 2015年度第2四半期決算発表時点(2015年10月30日)からの変更点

## ① 自社開発品

治験コード／製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2016年2月3日現在
TA-650 (インフリキシマブ[遺伝子組換え])	抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤 (クローン病、潰瘍性大腸炎、小児・クローン病、小児・潰瘍性大腸炎)	台湾	申請中 (2013年9月)	承認 (2015年9月)
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	韓国	申請中 (2015年6月)	承認 (2015年12月)
レミケード (インフリキシマブ[遺伝子組換え])	抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤 (難治性川崎病*)	日本	申請中 (2015年5月)	承認 (2015年12月)

\*:希少疾病用医薬品指定

## ② 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2016年2月3日現在
TA-7284 (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	米国	フェーズ3	申請中 (2015年11月)
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ2	フェーズ3
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ2	契約終了